



広報

とみおか6

No.596



支援に感謝の気持ちを含め 御神楽舞を披露 三春 春まつり

美しい故郷を取り戻すため、

迅速で確実な対応を国へ強く要望

去る5月9日、富岡町役場郡山事務所において、平野達男復興担当大臣と会談が行われました。今回の会談は、復興に向けた今後の取り組み、方向性について協議したいと同大臣の申し出により行われたものです。

会談では、平野大臣より、帰還計画やインフラの整備、避難者支援について問題提起がありました。しかし、町としては、財物等も含めた賠償の考えを国が示すことが、全ての問題解決に向けての前提条件であると考えており、一刻も早く賠償指針を精査し方向性を示してほしいと強く訴えました。

福島第一原子力発電所事故により私たちの生活は一変し、長期避難生活を余儀なくされ、花と緑あふれる美しい故郷を奪われました。今では自由に自宅に戻ることできません。震災前は全ての町民が安全で快適な環

境のもとで生活していたのにも関わらず、避難区域の見直しにより賠償額に差異が生じることが認められることはできません。

今なお、元の生活に戻る時期は見通せず、町民の皆さまの疲労も極限まで達しているかと拝察いたします。私たち被災者の立場、苦しみが忘れ去られぬよう、そして福島第一原子力発電所事故の問題が風化されることのないよう、一万六千人の町民の代表として、会談では忌憚のない意見を述べさせていただきました。

残念ながら、賠償問題について今回も具体的な説明はなされませんが、平野大臣より賠償指針の問題を検証し、その内容については随時報告を行っていきたいとの話がありました。議論の繰り返しにならぬよう、国にはしっかりと帰還に向けた計画を立ててもらいたいと考え

ます。

また、翌日の10日には富岡町議会全員協議会が開催され、町の方針を説明し全会一致で議会の理解を得ることができました。今後は議会と一体となり、福島第一原子力発電所の安全確保と原子力損害賠償の完全実施の確実な対応を強く要望してまいります。

まもなく、紫陽花が色鮮やかな花を咲かせる季節を迎えます。梅雨冷えの肌寒い日もありますので、体調をくずされることなくお過ごしください。皆さまのご健康を心よりお祈り申し上げます。

富岡町長 遠藤 勝也

富岡町議会全員協議会が開催されました

原子力発電所事故の発生から一年が経過しましたが、未だ収束の途上にある中で、国からは、警戒区域の見直しと中間貯蔵施設等を郡内に設置してほしいと要望があります。しかし、除染工法や財物の賠償基準及びインフラ復旧計画などが明確に示されない中、こうした方針が示されたことは大変遺憾であります。5月10日に開催された富岡町議会全員協議会では、区域見直しに伴う懸案事項について説明を行い、町の方針として「財物賠償基準を帰還困難区域に準じた町内一律設定を最優先とする」等について、町議会の合意を得ました。今後、左記方針に基づき、町及び町議会が一丸となり政府へ求めてまいります。

避難指示区域再編に関する町の方針

- 一 新たな避難区域再編に関わらず警戒区域の解除を行わないこと。
- 二 避難区域再編に伴う財物賠償については、平成23年3月11日を基準日として全区域差別なく全損扱いとすること。
- 三 家屋の補償にあつては、新築時の取引価格を試算し、賠償額を算定すること。
- 四 精神的損害賠償も全区域差別なく、帰宅困難区域と同様な取り扱いとすること。
- 五 区域再編を含めた政策について、住民説明会を早急に実施すること。

タブレット型情報端末の配布(貸与)計画について

町では、原発事故により全国各地に避難している方に町からのお知らせ情報などをお届けするために、タブレット型の情報端末を無償で配布(貸与)する計画を進めています。

6月中旬頃から利用希望調査を行い、希望される方には8月末頃にお送りして、9月からご利用できる予定です。

タブレット型情報端末で利用できる機能としては、町からのお知らせ情報閲覧や町内に設置したライブカメラの映像視聴などを予定しています。

対象世帯：平成23年3月11日時点で富岡町に住民登録があり、居住されていた方

貸与機器：「タブレット端末」 大きさ：約150mm×約243mm(約8.9インチ)

重さ：約620グラム

※平成24年6月1日現在の避難先世帯に1台の貸与となります。



申込み方法：平成24年6月中旬に貸与申請書を避難先世帯の代表(成人に限る)の方に送付します。

希望される場合は必要事項を記入して返送していただきます。

配布方法：宅配便によりお届けします。

配布時期：平成24年8月末頃に配布します。

貸与期間：平成28年3月までとします。(避難状況により延長する場合があります)

※第三者への譲渡転貸はできません。なお、不用になった場合は返却していただきます。

運用開始：平成24年9月を予定しています。

(当初は、お知らせ情報提供など基本的な機能でスタートし、徐々に機能追加を行っていきます)

通信料：当分の間、無料(町で負担します)

その他：・電気料(月額概ね100円程度)は各自負担していただきます。

・貸与期間中は紛失や破損をしないよう管理していただきます。

(紛失や落下・水没など過失による故障の場合は、交換費用として5,000円程度の実費をご負担していただく場合があります)

・第三者に譲渡したり転貸することはできません。

・このタブレット型情報端末は、町からの情報を受信する機能に特化したものであり、通常のインターネット利用(検索やホームページの閲覧、電子メールの送受信など)はできませんので、あらかじめご了承ください。

閩企画課 情報広報班

お知らせ

児童手当現況届の提出について

児童手当を受給されている方は、年に一度6月に養育状況を確認するため、「児童手当現況届」を提出することになっております。

現況届は、6月中旬以降に郵送いたしますので、左記期限までにご提出ください。

▼提出期限

7月31日(火)厳守

▼添付書類

【受給者共通】

- ・国民健康保険以外の方
- ・児童手当受給者(児童の養育者)の保険証の写し
- ・振込金融機関を変更される方
- 銀行口座の写し

【単身赴任等により児童を別居監護する方】

- ・監護・生計同一に関する申立書(様式は追送します)
- ・ご連絡ください。
- ・別居先の児童が属する世帯全員分の住民票

【富岡町に転入された方(再転入を含む)】

- ・受給者の児童手当用所得証

明書(平成24年1月1日に住所のあった市区町村から取得してください。)

閩健康福祉課福祉係

富岡町健康増進センター「リフレ富岡」からのお知らせ

リフレ富岡では、平成23年度スイミングスクールの継続申込をされた方に、スイミングスクール入会金を返金いたします。

返金はお届け頂いた口座への振込となりますので、口座番号等に変更のある方はご連絡ください。

▼対象者

平成23年2月から3月に、スイミングスクールの継続申込みをされた方

▼振込金額

千円

▼振込予定日

6月下旬予定

閩リフレ富岡

☎080-4817-6366

平日午前9時から午後4時

結婚50年・幸せ金婚夫婦表彰

福島県老人クラブ連合会では、多年にわたり社会に貢献され、今日の社会の基礎はもとより、家族の幸せを築いてこられた結婚50年を迎えるご夫婦に「幸せ金婚夫婦」として表彰状と記念品をお送りします。

75歳以上の方につきましては、申請書を6月中に一斉に送付いたしますので、該当される方は、届出をお願いいたします。(郵送での届出も可能です。)

▼届出ができる方

- ①昭和37年に結婚し、結婚後50年を迎える夫婦
- ②昭和36年以前に結婚され、まだ慶祝を受けていない夫婦

▼受付期限

7月31日(火)

▼受付窓口

富岡町社会福祉協議会
郡山市富岡町字若宮前32
(富岡仮設住宅内)

閩富岡町社会福祉協議会

☎024-9335-3345

FAX 024-9335-3346

富岡町職員採用候補者試験のお知らせ

町では、平成25年度の職員採用候補者(高校卒業程度)の試験を次のとおり行いますので、受験を希望される方は、申込受付期間内に富岡町役場総務課へ申し込みください。

1 試験区分、採用予定人員及び受験資格
高校卒業程度

試験区分	採用予定人員	受験資格
一般事務 土木	若干名	平成3年4月2日から平成7年4月1日までに生まれたもの(学歴は問いませぬ)

2 試験の方法

試験区分	試験の方法
一般事務	第一次試験 高校卒業程度による教養試験
土木	第一次試験 高校卒業程度による教養試験、専門試験
第二次試験	第二次試験 作文及び口述試験
第三次試験	第三次試験 作文及び口述試験

3 試験期日及び試験場

- (1) 第一次試験 平成24年9月16日(日)
試験場 杉妻会館
福島市杉妻町3-45
- (2) 第二次試験 平成24年10月下旬
試験場 富岡町役場郡山事務所
郡山市大槻町字西ノ宮48-5

4 申込受付期間

平成24年7月11日(水)から8月10日(金)まで
(ただし、土曜日及び日曜日・祝日を除く午前8時30分から午後5時15分まで)

5 申込手続

受験内容・受験申込書は、役場総務課で交付いたします。

閩富岡町役場総務課

☎0120-333-6466

ダイヤモンド婚・プラチナ婚表彰

町では、結婚60年(ダイヤモンド婚)並びに結婚75年(プラチナ婚)を記念し、ご夫婦を表彰します。

75歳以上の方には、申請書を6月中旬に一齐に送付しますので、該当される方は届出を願いたいします。(郵送での届出も可能です。)

▼届出ができる方

①富岡町に住所を有する夫婦で、結婚後60年(昭和27年に結婚)、同じく、75年(昭和12年に結婚)を迎える夫婦。

②昭和26年(ダイヤモンド婚)、昭和11年(プラチナ婚)以前に結婚され、まだ慶祝を受けていない夫婦。

▼届出の時期

平成24年6月1日(金)から7月31日(火)まで

▼受付窓口

富岡町役場郡山事務所、いわき出張所、三春出張所、大玉出張所

▼表彰伝達

9月中旬以降郵送にて表彰

状と記念品をお届けします。

▼注意事項

- ・申請者の印鑑が必要です。
- ・届出は代理人でも結構です。
- ・郵送により届出る場合は、富岡町役場郡山事務所福祉係宛に送付してください。

町健康福祉課 福祉係

町税の過年度未納がある方へ

町では過年度の町税に未納がある方に対し、広報とみおか5月号にてお知らせしたとおり未納明細書を順次送付しております。

震災の影響により納付書が紛失された方は、納付書の再発行や納付相談を随時行っておりますので、未納明細書が届いた際には、役場税務課までお問合せください。

なお、納付相談等の連絡が無い方につきましては、地方税法の規定により福島県へ未納明細が引き継がれ、富岡町に代わって県税部局が徴収する場合があります。未納明細書が届いた方は、必ずご連絡ください。**町税務課 納税係**

平成24年度町民税について

町民税は、1月1日現在の所在地(住民票がある市町村)で、前年の1月1日から12月31日までの1年間の所得に対して課税されます。納付方法は、特別徴収若しくは普通徴収となります。

▼特別徴収とは…給与所得者(サラリーマン)で、会社の給与から天引きとなる納付方法です。6月から翌年5月まで、12回に分けて天引きとなります。

▼普通徴収とは…事業所得者や公的年金所得者など、給与から天引きできない方の納付方法です。6月・8月・10月・12月の4回分の納付書を送付しますので、コンビニエンスストアまたは町指定の金融機関で納めてください。自動口座振替の手続きをされている方は、各月の末日(12月は25日)に引落としとなりますので、残高の確認をお願いします。

なお、今年度も東日本大震災及び原子力災害の影響により、町民税が減免となります。

特別徴収の方は勤務先へ、普通徴収の方は各個人に税額決定通知書を発送しますので、ご確認ください。

普通徴収の方については、納期限を過ぎるとコンビニエンスストアでの納付ができなくなるので、必ず期限内に納付してください。

町税務課 課税係

平成24年度総合検診の実施に伴う意向調査について

今年度の総合検診実施にあたり、県外に避難されている方には病院で行う検診(平成23年度と同様)の通知が(財)日本予防医学協会から送付されます。県内に避難されている方には、町から集団健診(県内各所で実施)の通知を送付いたします。検診は秋ごろを予定しておりますが、県内に避難されている方には検診日程や会場調整のため事前に意向調査を実施し、希望される方に検診の通知を送付します。

意向調査は、町に届出済の避難先住所を基に県内へ避難されている40歳以上の国保加入者、後期高齢者医療保険加入者及び40歳未満の方を対象に5月末に送付しましたので、同封のはがきでご回答ください。上記に該当し、かつ検診を希望する方で、まだお手元に総合検診意向調査が届いていない場合は、お手数でもご連絡ください。

**国保・後期高齢の特定健診等については国保年金係
がん検診・40歳未満の検診については健康づくり係**

町民税減免割合

所得金額	減免割合
300万円以下	10/10
300万円超～400万円	9/10
400万円超～500万円	7.5/10
500万円超～750万円	5/10
750万円超～1,000万円	2.5/10
1,000万円超	1/10

お知らせ

双葉農業普及所からのお知らせ

双葉農業普及所では、避難されている農家の皆さまに必要な情報（農産物・土壌モニタリング結果、原子力災害に対応した農業技術情報、資金・事業の紹介など）を分かりやすくご説明するため、毎月県内5カ所に、相談窓口を設置しています。最寄りの窓口にお気軽にお越しください。

双葉農業普及所

☎0246-24-6044
FAX 0246-24-1142

開催日	開催地区	開催場所	開催時間
6月7日(休)	三春町	三春貝山多目的運動公園管理棟	10:00~15:00
6月7日(休)	いわき市	いわき明星大学学生会館2階	
6月8日(金)	会津若松市	J A あいづ本店3階	
6月14日(休)	郡山市	郡山市富田若宮前応急仮設住宅集会所	
6月15日(金)	二本松市	男女共生センター1階	

職員人事異動

(4月1日付)

【参事職】

◇参事兼総務課長

(総務課長)

滝沢 一美

◇参事兼生活環境課長

(生活環境課長)

緑川 富男

◇参事兼社会福祉協議会事務局長

(統括保育所長)

松本 哲郎

【課長職】

◇産業振興課長兼農業委員会事務局長

(都市整備課主幹兼課長補佐兼用地係長兼建設整備係長)

三瓶 保重

◇教育総務課長

(産業振興課長補佐)

猪狩 隆

◇健康福祉課長補佐兼介護保険係長

(生涯学習課副主幹兼入泊一ツ振興係長)

佐藤 恵子

◇保育所次長

(夜の森保育所主任専門保育士)

渡辺さい子

◇児童館長

(児童館主任専門児童厚生員)

石井美智子

◇総務課主幹兼課長補佐

(総務課長補佐)

菅野 利行

◇税務課主幹兼課長補佐兼課税係長

(健康福祉課長補佐兼介護保険係長)

佐藤 臣克

◇教育総務課長補佐兼学校教育係長

(健康福祉課長補佐兼介護保険係長)

宇佐見まり子

◇健康福祉課主幹兼課長補佐兼保育所長

(健康福祉課長補佐兼児童館館長)

伏見 克彦

◇生活環境課主幹兼課長補佐

(生活環境課長補佐)

渡辺 弘道

◇教育総務課主幹兼課長補佐

(教育総務課長補佐)

石井 和弘

◇生涯学習課主幹兼課長補佐

(生涯学習課長補佐)

林 志信

◇教育総務課総務管理係長

(教育総務課総務管理係長)

大森 研一

◇生涯学習課副主幹兼生涯学習係長兼入泊一ツ振興係長

(生涯学習課副主幹兼生涯学習係長)

斎藤 一宏

◇産業振興課副主査

(三春出張所副主査)

阿部 祥久

◇いわき出張所副主幹

(都市整備課副主幹)

北崎 高

◇健康福祉課主任専門保健師

(健康福祉課主任専門保健師)

植杉 暁美

◇幼稚園副園長
(富岡幼稚園主任専門教諭)

梶原真砂子

◇都市整備課副主幹兼建設整備係長兼下水道係長

(都市整備課副主幹兼下水道係長)

三春出張所主事

(都市整備課管理係長兼用地係長)

いわき出張所主事

林 紀夫

◇都市整備課管理係長兼用地係長

(都市整備課管理係長)

久保田泰弘

◇教育総務課総務管理係長

(教育総務課総務管理係長)

健康福祉課

兼学校教育係長

大森 研一

◇生涯学習課副主幹兼生涯学習係長

(生涯学習課副主幹兼生涯学習係長)

保育所

斎藤 一宏

◇参事兼産業振興課長兼農業委員会事務局長

委員兼教育総務課長

参事兼参事兼教育総務課長

小坂 和弘

◇夜の森保育所次長

(夜の森幼稚園副園長)

遠藤 陽子

◇総務課副主幹

(中央児童館主任専門児童厚生員)

横田 純子

◇中央児童館主任専門児童厚生員

(中央児童館主任専門児童厚生員)

深谷 静雄

◇総務課副主査

(三春出張所副主査)

滝沢 キイ

◇健康福祉課主任専門保健師

(健康福祉課主任専門保健師)

滝沢 キイ

TOMIOKA

桜通信

さくら

みどりの募金活動（平成 20 年 5 月）
ヨークベニマル富岡店にて

第2号



東日本大震災と原発事故により、私たちは、ふるさとを離れ、全国に分散した避難生活を強いられています。

この「TOMIOKA（とみおか）桜通信」では、避難生活を続ける皆さんのもとを訪ね、皆さんの声をお届けし、ふるさと「富岡」という「絆」をつないでいこうというものです。



遠藤 秀一 さん
(仲町)

私は3年前、妻は昨年、同じく教職員を定年退職しました。

震災では、妻と共に自宅で被災、怪我が無かったことだけが救いでした。現在は、親類が所有する福島市内の借上住宅で生活しています。

震災発生の翌日、避難を始めた当時は「数日の避難」と思っていました。が、一日また一日と続いて、あっという間に4月になってしまいました。避難から数日後、おいてきた犬を連れ出しに自宅に戻ろうかとも思いましたが、原発事故の深刻さに踏み出さずにいました。

ちようどそんな頃、自宅に戻ったというご近所さんから、我が家の前を通ったところ犬が生きているという話を聞きました。「生きていけるならそばへ置きたい…」まだ警戒区域の設定前だったため、意を決して自宅へと戻りました。

自宅に到着し犬小屋に向かうと、犬はすっかりやせ細り、吠える声を出せないほどでしたが、持ち合わせた水とパンを与えるときれいに平ら

げ元気を取り戻してくれました。愛犬を連れて避難先（現在の借上住宅）に戻る途中、これで最後になるかもしれないという思いで通った富岡の町は、人の息遣いが全く感じられず、寂しい限りでした。避難生活が始まってから1年以上となりましたが、「帰りたいけど帰れない」一時立入のたびに失望感が強くなっていくような感じがしてなりません。

最近では昨年春に生まれた孫娘（長女の子）の顔を見に行くことが楽しみの一つです。震災や原発事故がなければ、里帰り出産で生まれてしばらくは私たちと一緒に富岡で生活していたはずでした。

今は健康管理のための運動を欠かさないようにしています。



夫婦で元気に



福島県
田村郡三春町
松本 政喜 さん
(小浜)

震災があった日の午後、行政区長をしていた私は、役場からの配布物を各隣組ごとに分別していたところでした。

消防職員を定年退職して3年目。退職後に始めた家庭菜園は、ちょうど栽培が軌道に乗り始めた頃で、収穫した野菜を知人や友人に配り、いろいろなお土産をもらうことが楽しみでした。しかし、そうした日々は一瞬にして遠い存在になってしまいました。

現在、私は三春町にある熊耳応急仮設住宅で、行政連絡員をしながら、90歳を過ぎた母、妻とともに暮らしています。

震災発生当時、私と母は自宅に、妻は介護ヘルパーをしていたため事業所のある館山荘でそれぞれ被災しました。

震災発生後の翌朝に発せられた避難指示の後、田村市内、大玉村内の避難所を経て、昨年7月から、ここで暮らしが始まりました。



いつも気丈に！

この仮設住宅には、約60世帯、130人が生活しています。比較的高齢の方が多くようです。いろいろな不安を訴える方も少なくありません。

それゆえ、私は、この連絡員を引き受けるにあたって、「ここから孤独死を絶対に出さない」ということを強く誓いました。回覧板一つまわすにしても、必ず声をかける。些細なことかもしれませんが、欠かさなように心がけています。

私は、これまで3回の一時帰宅を行いました。荒れ果てた町や自宅の姿を目にする度に、一日でも早く帰還を果たしたいという思いがこみ上げてきます。

あの日から時間が止まったままの自宅には、配布されることが無くなってしまった役場からの配布物が、今もそのままの状態になって残されています。



福島県
安達郡大玉村
伊藤 宣子 さん
(夜の森駅前南)

私が生活している安達太良応急仮設住宅は、その名の通り安達太良山から吹き下ろす風の影響で、郡山やいわきに比べれば、春の訪れが少し遅かったかもしれません。

震災発生後の翌朝、避難指示を知らされ、「着の身、着のまま」で、私は夫や近所の人たちと共に、リフレ富岡からバスに乗り、川内村、ビッグパレットふくしまを経て、埼玉県幸手市へ移り、約3ヶ月間お世話になりました。

設住宅などに移って1年近くになるうとしていますが、同じ釜の飯を食べたもの同士、今も互いの交流は続いています。

仮設住宅での生活は、プライバシーが守られる点などはよいと思いますが、避難所と違い動く機会が減ったせいもあってか、不眠に悩まされるようになりました。元気で丈夫なことが自慢だった私は、病気のしい患いをしたことはなく、医師の世話になったこともありませんでした。しかし、最近になって、その不眠について診察を受けました。「動かないこと」のストレスが原因。思ってもありませんでした。

じつとしていより、動くことが好きな私は、幸手市の避難所では、世話役を自ら引き受け活動していました。救援物資の管理、食事の準備、ボランティアとの調整など、休む暇などほとんど無い避難生活でしたが、疲れなどを感じたことはありませんでした。そんな中で、いつのころからか、周りの人たちから「おかあちゃん」と呼ばれるようになりました。

幸手市の避難所から、それぞれ仮

この冬は寒さが厳しく、出かけるのにも難儀することがありました。幸手市の避難所で生活を共にした皆さんのもとを訪ねたり、出歩くことが、ささやかな楽しみといった日々です。



皆さんお元気ですか？



福島県 安達郡大玉村

佐々木 賢一郎さん
(小良ヶ浜)

震災発生翌朝、近所に嫁いだ娘の嫁ぎ先を訪ねると、「原発が危険だから早く避難して」といわれ、あわてて自宅に戻り、準備もままならないまま、行方不明者の捜索に出かけた長男を残し、嫁(長男の妻)と孫、私たち夫婦はそれぞれ車に乗り避難を始めました。

役場からの指示通り、川内村を目指しましたが、到着した頃にはすでに避難者で一杯になっており、そのまま、田村市滝根の避難所に向かいました。大熊からの避難者を収容するという理由で一度断られました。直談判の末、やっと入れてもらうことができました。しかし、長男、嫁と孫、私たち夫婦、それぞれがバラバラになってしまい、互いに連絡をとることができず、不安な時間を過ごしましたが、幸いなことに、同日夜には嫁と、後に長男とも連絡をつけることができました。

滝根の避難所で3日間ほど過ごしましたが、秋田県内に住む嫁の両親

から、避難先を用意した旨の連絡があり、ご厚意甘え、娘一家と共に秋田へと向かいました。秋田に到着したときには生活の一切が用意され、今では足を向けて眠れないほどにありがたい限り。人の温かみや絆を実感した4ヶ月間でした。

昨年の8月から、大玉村の安達太良応急仮設住宅で妻と生活しています。

震災の発生から一年以上が経過。先の見えない状態がもどかし、仮設住宅という狭い空間に息苦しささえ感じます。生きがいを失って弱っていく人の姿を見るのはとてもつらく感じられます。

一日も早い帰還を目指すのはもちろんのことですが、まずは、仮の町、そして、復興住宅の建設を待ち望む日々です。



妻とともに



東京都 江東区

稲元 浩幸さん
(中央)

富岡では、中央で手作り物産店「いなもと」を経営していました。震災発生当時、店舗の3時間閉店にあわせ惣菜の調理を行っていました。揚げ物の油が床に広がり、コップや皿は割れ、冷蔵庫の扉が開くなど、厨房と店内はメチャメチャの状態となりました。その夜は、比較的被害の少なかった弟の家に身を寄せました。

翌朝、避難勧告が出る前でしたが、客回りの途中、すでに、沢山の人がちが避難を始め、消防団員の友人から、原発が危ないとの話を知らされました。自宅に戻り、急いで避難を開始。都路村の親戚宅、三春町の避難所、嫁の実家である喜多方市を経て、事態が長期化すると感じたため、翌月には、現在の東京都江東区に移動しました。

避難当初、まったく何も手につかない日々が続きましたが、何かしなくはと、5月からスーパーで働き始めました。職場では、大変良くしていただきました。しかし、9月に



希望と不安のはざ間で…

なって、自分の将来を考えるためにも、このあたりで一度リセットしたいと思いい、その仕事を辞めました。

ちょうどその頃、母と次男がいわき市の仮設住宅に入居。幸いにも、次男はいわきで就職でき、母も近くに知り合いが増えてほっとしている様子です。

今後、富岡が完全に震災前の状態に戻るなら、どんなに苦労しても地域のみなさんのために、商売を再開したいとは思いますが、今は、不安の方が大きいというのが正直なところです。また、富岡以外では以前の商売を再開できるとイメージが描けません。

東京で生活して、約1年。東京での生活に根付き始めた自分に気がつく時があります。

3年たってもふるさとでの再建の見通しが立たないなら、新天地で生きていくという選択肢を真剣に考えるようになるでしょう。



東京都
江東区
関根 文恵さん
(小浜)



子どものためにも頑張ります

震災発生時は、仕事を終え、勤務先の夜の森保育所から浪江町の実家に向かって国道6号線を走行中、大熊町でラジオから緊急地震速報が流れ、路肩に停車した途端、激しい揺れに襲われました。側道からみるみる地割れが起こり、車が横転してしまふのではと思うほどでした。やっこの思いで家へ帰るや否や、総合体育館へ避難し、夕方には二中体育館へ移動、まさかそのまま帰れないとは……。

翌朝の避難指示で、川内、船引、三春の各避難所、猪苗代、東京都内の親戚のもとを経て、現在は、応急仮設住宅となった東雲公務員住宅で生活しております。

二度の編入で熱を出した長男、ずっと落ち着きのなかった次男、小さいながらも慣れるのに必死な娘、東京が嫌だと言う義母とそれを支え

る義父、主人も慣れない土地で働き、私は何も手につかなかった……本当に皆よく頑張った一年でした。

買い物に行く度に、富岡の(義父母が丹精込めてつくってくれた)とつてもおいしい野菜を思い出し、また、開けた土地(東京ではキャッチボールもなかなかできません)豊かな大自然、おいしい空気……富岡ではきつと究極の贅沢をしていただのだと思います。

役場の皆さん、消防の皆さんには本当にお世話になりました。ご自身も被災されながらも、家族と離れての任務、本当にお疲れ様でした。また、全力で子供たちを守ってくださった先生方、本当に感謝です。

皆が無事生きていられることに感謝しながら、これからは見つめていきたいです。



千葉県
船橋市
平良 克人さん
(西原)

震災発生までは、ワタナベ電建に勤務していました。発生当時、小浜の合同庁舎で作業をしていました。合同庁舎では、ガラスが割れ天井が落ちたようで、中にいた職員が一斉に外に飛び出し、土木事務所の職員が次々と出動してきました。

当日の夜、自宅近くの公民館で、救援物資を運ぶために役場を往復しながら一晩を過ごしました。

震災翌朝の避難指示より、1年以上避難生活が続いています。避難当初は、親戚にお世話になりましたが、現在は、船橋市内の借上住宅で生活しています。

私には4人の子供がいます。上から高3、高1、小5、小3(現在)です。一番上の娘は一度千葉の県立高校に編入したのですが、本人の強い希望で今年の4月から母校である富岡高校(いわきサテライト)に戻りました。現在高1の長男は本人の意志で今年、富岡高校を受験し合格しました。長男はもともとサッカー

をやっており、地元の富岡高校に入ってサッカーをすることを目標にしていました。この震災で千葉に移ってもその思いは強く、今は福島市の飯坂にあるサテライト校舎に通ってサッカーをやっています。私も妻も富岡生まれではないので、富岡で生まれ育った子供たちとはふるさと意識に関して違いを感じる時もありました。子供たちにとって、富岡というふるさとや友達との絆は非常に強いものがあります。

船橋で小学校に通う下の二人は新しい環境になじんでいるようです。私は現在休業中ですが小学生の子供が落ち着くまで船橋に住むつもりです。子供たちの方向性が見えてきたので、今は船橋でゆっくり落ち着いて出来る仕事を探していこうと考えています。



次男・次女とともに

富岡町民の憩いと交流の場に 大玉村に仮設店舗「富岡えびすこ市・場」が開店



多くの町民で賑わう店内

大玉村安達太良応仮設住宅敷地前に、仮設店舗「富岡えびすこ市・場」が開店し、4月26日、オープン記念式典が行われました。

式典では、富岡町商工会の山本育男会長が「仮設住宅に入居されている町民の皆様のために利便性を高め、情報発信や交流の場としたい」とあいさつし、遠藤町長が「多くの町民の皆様にご利用いただき、絆が強まることを願います」と祝辞を述べました。

富岡えびすこ市・場は、富岡町商工会、富岡町商店街協同組合、富岡町の小売店業者が合同で設立した「富岡さくらの

この日は開店と同時に多くの町民が訪れ、「今までは少し離れたショッピングセンターまで行かなければなりませんでしたが、近くにこんな店ができ、品揃えも豊富でとても便利になります」とオープンを喜び、買い物を楽しんでいました。

郷」が運営し、日曜日を除く毎日午前8時30分から午後6時まで営業しています。主に食料品や日用雑貨を販売し、店内にはお客様が休めるようにとテーブルや椅子も用意され、また、高齢者の方のために御用聞きや宅配などのサービスも行っています。



開店を祝いテープカット

T O P I C S

移動式喫煙スペースバス J Tが富岡町へ無償譲渡

日本たばこ産業(J T)が、移動式喫煙スペースバス(スモーカー)を富岡町へ無償譲渡し、5月9日、郡山市富田町のおだがいさまセンターで贈呈式が行われました。

スモーカーは、J Tが平成16年に分煙や環境美化の推進を目的として導入したもので、今後は、富岡町と近隣地域とのイベント等で利用されます。



和歌山県から心を込めて花束のプレゼント

5月11日、和歌山県のJ A紀州中央青年部会が郡山市を訪れ、市内の仮設住宅に居住されている富岡町と川内村の皆さんに、スターチスの花束千本を贈りました。

贈呈式は市内南一丁目応急仮設住宅集会所前で行われ、和歌山県農協青年部協議会の小森要会長が「スターチスの花言葉は『変わらぬ心』。福島県の復興をいつまでも応援しています」と、庄野教育長、遠藤川内村長、住民の代表らに花束を手渡ししました。

富岡町民を代表して花束を受け取った根本澄江

さんは「仮設住宅での生活は大変ですが、富岡町と川内村が一緒に親近感が生まれました。今回いただいた花束で勇気付けられ、これからも前向きに頑張りたいです」と笑顔で話されました。



町民代表で花束を受け取った根本さん(右)

富岡町民も数多く参加、福島の復興を願い三春町で春まつり



まつりの始まりである出陣式では、戦国大名・相馬義胤に扮した遠藤町長が開会のことばを述べ、「まつりに参加させていだいたことは、避難生活が続く

三春町で避難生活を続ける富岡町民の皆さんが、5月5日、三春町で行われた第一回三春春まつりに参加しました。
この春まつりは、震災からの復興を願い、住民に元気を届けることを目的に初めて開催されたもので、「時代行列」「合戦・演舞」「郷土芸能競演会」の三部構成により、歴史と伝統の町三春で時代絵巻を繰り広げました。



空の元、会場である大通りを練り歩きました。また、郷土芸能競演会では三春町の長獅子、葛尾村の三匹獅子舞と共に、麓山神社氏子青年会の皆さんによる御神楽舞が披露され、震災、そして原発事故の避難に負けじとまつりを盛り上げる姿に、沿道を埋め尽くした観衆から大きな拍手が沸き起こりました。

富岡町民にとつての大きな力、そして復興に向けての希望につながる」と感謝の意を表しました。
富岡町民の皆さんは時代行列に参加。戦国時代の衣装に身を包み、初夏の青

再会の喜びを分かち合う「げんき富岡」震災復興祈願パークゴルフ大会



久々の再会に笑顔が溢れる参加者の皆さん

大会には県内外から22名が参加。震災後初めて顔を合わせるメンバーもいましたが、麗らかな春の日差しを浴びながらプレーを楽しみ、猪苗代町から参加した野口勝美さんは「今日は皆さんの元気な顔を見に来ました。勝負は二の次、また機会があれば参加

富岡町パークゴルフ協会（佐藤憲二郎会長）主催による、げんき富岡・震災復興祈願パークゴルフ大会が、4月16日、須賀川市の藤沼湖自然公園において行われました。
原発事故の避難により、同協会の活動は休止を余儀なくされていましたが、またみんなまでプレーしたいとの思いから会員の所在確認を始め、この日の大会開催にこぎ着けました。



気の合った仲間とのプレーを楽しむ皆さん

したいです」と、会員の皆さんと再会を喜び合っていました。

今後は偶数月に大会の開催を予定しているとのこと。さらに多くの皆さんの参加を呼び掛けていきました。

大会の成績は次のとおりです。（敬称略）

【男性】

優勝 鹿股 洋
準優勝 鈴木 武利
第3位 横田 春男

【女性】

優勝 渡辺 玲子
準優勝 鹿股登美子
第3位 鈴木 文子

【ホールインワン賞】

菅家 久幸
渡辺 玲子
武田 末子

借り上げ住宅居住者のコミュニティー確立を目指す 郡山方部居住者会を設立

郡山方部借り上げ住宅居住者会の設立総会が、5月12日、郡山市大槻公民館大槻分室において行われました。

借り上げ住宅は、仮設住宅に比べ町民相互の所在が分かりづらくコミュニケーションが取れないなどの問題があることから、4月に町民有志が準備会を立ち上げ今回の自治組織設立に至りました。

会にはこの日まで47世帯が入会。会長に坂本正男さんが選ばれ、今後よりいっそう親睦を深めながら情報を共有し、長引く避難生活を乗り切ろうと誓い合いました。



多くの町民が出席した設立総会

会津の歴史と自然に触れる小さな旅 さくらスポーツクラブ 鶴ヶ城ウォーキング

NPO法人さくらスポーツクラブ主催の第1回健康ウォーキングが、4月21日、会津若松市の鶴ヶ城周辺コースにおいて行われました。

この日は県内に避難している町民102名が参加し、鶴ヶ城や飯盛山、御薬園など名所旧跡を徒歩で巡り、会津の自然や歴史を堪能しました。

さくらスポーツクラブでは、今後も町民の健康維持を目的としたイベントを開催予定で、6月9日には三春町運動公園を会場に「とみおかスポーツフェスタin三春」が行われます。ご家族やお友だちお誘いのうえ、ふるってご参加ください。

☎NPO法人さくらスポーツクラブ

☎080-3141-0068



飯盛山の参道で小休止

子どもたちの弾ける笑顔、会場に響き渡る元気いっぱいの歓声

富岡第一・第二小学校・富岡幼稚園合同春季大運動会

三春町の仮設校舎で学ぶ富岡一小、二小、富岡幼稚園の春季合同運動会が、5月19日に田村市総合体育館で行われ、「勝利に向かって走りぬけ！富岡パワー全開だ!!」のスローガンのもと、障害物競走や騎馬戦、ダンスなど、バラエティーに富んだ12種目で熱戦を繰り広げました。

開会式では、富岡二小の根本修行校長が「感謝の気持ちを忘れず頑張りましょう。保護者の皆さんは子どもたちの成長を感じ取ってください」とあいさつ、児童代表の佐藤愛莉さん(一小)と芳賀麻弥さん(二小)が誓いのことばを述べ、震災以降2年ぶりの



先生、早く早く！（5・6年生「恩師と共に」）

開催となった運動会がスタートしました。

この日は茨城県つくば市から参加賞等の支援物資が、また滋賀県彦根市からは先生と児童・園児に揃いのTシャツが贈られたほか、千葉大学の学生25名が運営ボランティアとして競技に参加し、保護者や先生方と共に子どもたちと交流を図りました。

今回は原発事故の影響を考慮し体育館での開催となりましたが、会場内には子どもたちの笑顔と歓声があふれ、応援に駆け付けた父兄とともに楽しい時間を過ごしていました。



男子には負けないよ～(全学年「騎馬戦ぼうしとり」)

一時帰宅されます皆さまへ



双葉消防本部 から

皆様へのお願いと注意事項

- 家の掃除をされたときに出ます**ゴミ等**（家庭用ゴミ、枯れ草など）を外で燃やす行為は、お控え下さい。



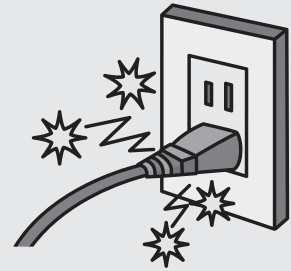
- お帰りになる際は、**ブレーカーの電源**を落として下さい。

- たばこのポイ捨て**をしないでください。（枯れ草等に引火する場合があります。）



- お線香**や**ローソク**などの、火の取り扱いには十分注意してください。

- 使用されない**電化製品のコンセント**を抜いてきて下さい。

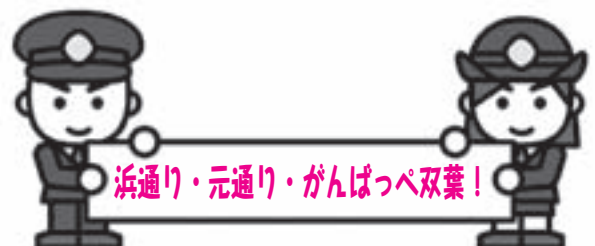


- プロパンガス等の**元栓が閉まっているか**、再度ご確認ください。

※災害が発生した場合は、警察や消防などの避難誘導に従い、速やかに避難して下さいますよう、お願い致します。

お問い合わせ先

- 双葉消防本部
TEL：0240-27-1181
- 富岡消防署・富岡消防署檜葉分署
TEL：0240-25-2119



ありがとうございました

今回の災害により全国の方々から町へ義援金・寄付金・ふるさと応援寄付金を頂きました。頂いた義援金は町の復興並びに町民の皆さまのために使わせていただいております。平成24年4月(ふるさと応援寄付金は平成23年4月～平成24年4月)に義援金を頂いた企業名、団体名及び個人のお名前を掲載いたします。(順不同、敬称略)

義援金

関根茂樹、井戸川自転車店、埼玉県杉戸町、滋賀県湖南市、福岡県久留米市、森本宜久、内藤純子、佐藤大士、株式会社鳥藤本店



埼玉県杉戸町 古谷松雄町長から義援金が届けられました。



福岡県久留米市 橋本政孝副市長から義援金が届けられました。

寄付金



遠藤町長に目録を手渡す市村さん

富岡第二小学校PTAでは、3月31日に総務委員会を開催し、これからの方向性を協議。その結果、長期避難を余儀なくされ富岡での学校再開が困難であると思われることから、PTA活動を休止し、さらにPTA会員の承諾を得て、これまでの会費の中から町へ浄財50万円の寄付を決定しました。

4月10日に元PTA会長の市村高志さんが役場を訪れ、「全国に避難し、友だちと離れ離れになってしまった子どもたちのために使ってください」と遠藤町長に目録を手渡しました。

富岡町ふるさと応援寄付金(ふるさと納税)

(株)ティービーケー・システムエンジニアリング、寺岡ファシリティーズ(株)、高下浩文、出村智、一般社団法人日本ログハウス協会、新井里香、阿武孝之、佐藤公俊、宇都宮功、しずないさくらの会、木村嘉雄

町内の放射線量

富岡町が独自に実施した町内の空間放射線量の測定結果をお知らせします(単位：マイクロシーベルト/h)

測定場所	5月11日(晴れ)		測定場所	5月15日(雨)	
	地上1 m	地上1 cm		地上1 m	地上1 cm
下千里消防屯所	4.11	4.83	小浜住宅団地内公園前	5.95	7.21
上千里消防屯所	3.04	3.94	双葉環境センター	2.58	3.22
杉内消防屯所	2.91	3.63	NHK電波塔入口(浜街道)	5.31	7.84
第二工業団地入口	3.57	4.51	深谷集会所	7.18	9.90
高津戸集会所	6.91	9.80	赤坂神社前	8.47	10.20
富岡第二中学校	5.32	5.73	太平洋ブリーディング前	16.10	22.30
新夜ノ森集会所	7.84	11.10	みよし前交差点	9.22	13.60
夜の森公園	3.30	4.71	富岡自動車学校前	8.84	13.10
松の前待避所	13.20	19.30	リフレ富岡	5.64	7.11
小良ヶ浜集会所	8.86	11.70	東洋育成園前	4.69	5.40
町境(小良ヶ浜地区)	6.40	9.37	富岡インター駐車場	5.33	5.81
深谷消防屯所	8.00	10.50	上手岡児童館	3.79	4.39
富岡野球場	7.26	9.23	下千里ライスセンター前	3.70	4.51
観陽亭前	1.30	1.26	館山荘前	4.97	4.77
富岡合同庁舎西側	3.73	4.70	夜の森つつみ公園	5.62	7.65
富岡養護学校	5.14	6.62	総合グラウンド東側駐車場	7.10	9.73
老人福祉センター	7.78	10.40	華の樹前	8.29	10.50
夜ノ森駅	9.63	11.70	宝泉寺前	5.42	6.55
王塚集会所	6.26	10.00	国道6号第二原発入口前	1.48	1.74
諏訪神社前	4.86	7.45	猪狩スタンド前	1.58	2.37
上本町消防屯所	3.92	6.17	なべや駐車場前	1.33	1.35
上本町集会所	3.52	4.58	大東銀行富岡支店前	3.63	4.74
リベラルヒルズ入口	2.83	4.55	富岡漁港	0.83	0.96
赤木集会所	2.11	3.45	サンライズイン富岡前	1.33	2.01
上郡山集会所	2.42	2.74	福島富岡簡易裁判所前	2.57	4.14
太田集会所	1.41	2.06	ヨークベニマル富岡店前	2.79	4.72
原下消防屯所	1.24	1.76	今村病院前	5.63	9.46
富岡駅	0.54	0.37	福島銀行富岡支店前	2.84	5.37
清水消防屯所	1.94	3.33	龍台寺前	3.05	4.63
役場	2.33	3.82	清水団地前	2.75	3.11
浄化センター	0.83	0.73	猪狩電気通信工業前	3.11	4.49
毛萱集会場	0.68	0.91	上郡消防屯所	2.43	3.43
富岡保育所	2.45	2.64	岩井戸鉱泉	1.41	1.71
中央児童館	2.95	4.28	富岡工業団地	2.03	2.68
栄町駐車場	2.17	3.06	成沢の滝入口	2.04	1.68
岩井戸消防屯所	1.76	2.36	沼名子橋	3.06	4.45

測定器：γ線用シンチレーションサーベイメータ(日立アロカメディカル社製)

【年間放射線量 算出方法】 ※1ミリシーベルト=1000マイクロシーベルト

1日のうち屋外に8時間、屋内(遮へい効果(0.4倍)のある木造家屋)に16時間滞在するという生活パターンを仮定した場合
今回の測定値×(8時間+0.4×16時間)×365日=年間放射線量(マイクロシーベルト)

連絡先一覧

- 富岡町社会福祉協議会
〒963-8041
福島県郡山市富田町字若宮前32
富岡町高齢者等サポート拠点おだがいさまセンター内
☎024-935-3345 FAX024-935-3334
- 財団法人富岡町体育協会
〒963-0201
福島県郡山市大槻町字中柵31-1
大槻公民館大槻分室内
☎080-2826-0227 FAX024-961-1301
- NPO法人さくらスポーツクラブ
〒963-0201
福島県郡山市大槻町字中柵31-1
大槻公民館大槻分室内
☎080-3141-0068 FAX024-961-1301
- 富岡町生活復興支援おだがいさまセンター
〒963-8041
福島県郡山市富田町字若宮前32
☎024-935-3332 FAX024-935-3334
- 富岡町さくらサロン
〒960-8253
福島県福島市泉字泉川15-7
☎024-557-8780
- ふくしま絆カフェ富岡
〒963-8833
福島県郡山市香久池1丁目20-27
☎024-925-2337

- 富岡町役場郡山事務所
〒963-0201
福島県郡山市大槻町字西ノ宮48-5
☎0120-33-6466 FAX 024-961-3441
- ・富岡町役場郡山事務所分室 一時帰宅対策班
〒963-0201
福島県郡山市大槻町字反田5-5
☎0120-33-6466 FAX024-953-6391
- 富岡町教育委員会
〒963-0107
福島県郡山市安積1丁目39-1
山口薬品ビル内(安積行政センター東隣)
☎0120-33-6466 FAX 024-945-0348
- いわき出張所
〒970-8026
福島県いわき市平字梅本15
福島県いわき合同庁舎南分庁舎2階
☎0120-33-6466 FAX0246-88-1975
- 三春出張所
〒963-7719
福島県田村郡三春町貝山字泉沢100-1
☎0120-33-6466 FAX0247-62-0901
- 大玉出張所
〒969-1302
福島県安達郡大玉村玉井字台45-1
☎0120-33-6466 FAX0243-48-1147
- ・大玉仮設診療所
〒969-1302
福島県安達郡大玉村字横堀平158-10
☎0243-48-4710 FAX0243-48-4710
- 富岡町議会事務局
〒963-0201
福島県郡山市大槻町字西ノ宮48-5
☎0120-33-6466 FAX024-961-3441

避難先届出のお願い

避難先住所の届出をされていない方や避難先を移動された方は、電話等により避難先の情報をお富岡町役場に届け出てください。



この印刷物は、FSC®の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用して印刷しています。

発行 富岡町 〒963-0201 福島県郡山市大槻町字西ノ宮48-5
TEL : 0120-33-6466 FAX : 024-961-3441
E-mail : tomioka.machi@gmail.com
富岡町公式ホームページ【災害版】 <http://www.tomioka-town.jp/>
☑郡山駅前9番乗場発 新池下団地行きまたは 大槻行き
停留所 西の宮停留所

